

- ◆日 時 平成 18 年 9 月 3 日（日） 19：00～20：45
- ◆場 所 津志田町内会館
- ◆出席者等 津志田町内連絡協議会代表者
- ◆内 容 等

○（児童福祉課の説明を受けて補足）

平成 16 年度の段階での年間給与は、保育士で公立 621 万 2 千円、私立が 362 万、年間で 259 万 2 千円違うという資料がある。ただし公立の平均年齢は 39 歳、私立の平均年齢は 34 歳である。しかし、私立の保育士さんが 5 年経って 39 歳になったときの給与は 400 万円ちょっとなのではないかと考えられる。同じ年齢比べても 200 万円違う。保育園全体の職員、園長、看護師、保育士、栄養士、調理員、事務員等全部で比べると年間で 245 万 4 千円の格差がある。若い人 1 人分の給与くらい違う。

給与のことばかり言うと反発を受けるだろうということで当局もこういう場では資料を出せないのだと思う。もちろん行財政改革の一環ではあるが、お金だけのためにやるのではないということを御理解いただきご意見を伺いたい。

○ 現在町内からは民営化に対し何の反応もないので賛成でも反対でもない。

① 対象保育園の選定理由の説明があったが、なぜ対象が津志田保育園なのかわからない。選定理由をみれば、環境もいいし待機児童も保育需要もあり、黒字経営の可能性があるのでなぜ民営化なのか。

② 退職者不補充でやっていくのであれば、何年かかるかわからない。それなのに民営化計画で全園民営化した場合、10 億円の財政効果が見込まれるとなっているのは一種のごまかしなのではないか。

何年かかるのか。5 年で 2 園程度の民営化を行い、後は何年かかるかわからないというのんびりした進め方でいいのか。

⇒ 津志田保育園の民営化は、黒字だから赤字だからということでなく全園民営化する前提での 1 番目ということである。公立保育所全体で要している経費が民間保育所に比べてかなり多い。経費の 8 割～9 割は人件費が占めているので、その課題を解決しないと子育て支援施策のための財源が見当たらないということであり、個々の園の赤字黒字の話ではない。

今回は一次計画だが、待機児童や保育サービスの実施状況を勘案しながら 22 年度には 2 次計画の対象園を決めていくこととなる。

⇒ なかの保育園や津志田保育園に限らず、公立のまま今の給与水準でやっていくと入って来るお金より出ていくお金の方が多い状態になり公立と民間で格差が生じる。

○ 職員数は津志田保育園が一番多いのか。

⇒ 職員数は公立も私立も最低基準のとおり。

○ なかの保育園は建て替えが必要だから先に民営化するというのは理解できるが、津

志田保育園は順調に需要も見込まれるのになぜ民営化しなければならないのか分からない。

- 民営化するという事は、どこかに手を上げて引き受けてもらわなければならない。津志田保育園は乳児保育の需要もあり、園庭も広く建て増しして対応も可能。なかの保育園は確かに古く建て替えが必要で、建て替えに約 8 千万の法人負担もあるが、建て替え用地として近くに東北農試の跡地がある。

将来的に民間がどこも手をあげない保育園が出てくるのが予想されるので、そのときに市はどうするのか。と聞きたいが、現在、まずこの 2 園については、なかの地区は人が増えているし、津志田はご覧のとおり需要もある。手を上げる人が出てくる保育園だから対象園となっている。

- 民営化のための民営化だな。
- ⇒ (9/1 常任委員会提出の資料で説明)

一次計画の 5 年間の財政効果について、民営化により新しく人を雇わないこととなるので、5 年間で人件費 3 億 8 千万円減、人件費以外の公私のコスト格差により 2 億 2 千 3 百万円減、民間移行により歳入 1 億 6 千万増、地方交付税は民間移行により 1 億 6 千万円減。5 年間トータルで 6 億円の財政効果が出るものと考えている。

その財源を市では移管先法人の保育園運営費、引継ぎ保育の費用、施設修繕費等に約 4 億円、新しい保育サービスの提供に約 3 千 6 百万円を充てたいと考えている。

トータルで今回の民営化対象園 2 園の費用に約 5 億円の経費を要すると考えている。

差し引きの 1 億円を子育て支援のための財源にし、私立保育所の施設整備の補助夜間保育・発達支援保育の補助金・子育て支援センター・学童保育等を充実させたいと考えている。

- 6 億財政効果があるというのは欺瞞だ。5 億は民営化してもかかる経費なのだから、実際の財政効果は 1 億。なかの保育園が新しくなり、津志田保育園で乳児保育も始まり、休日保育も始まるなどサービスが良くなったうえに 1 億の財政効果があるということだ。これだけでもたいしたものだと思っている。

⇒ 10 億円というのは全園を一度に民営化しと仮定したラフな財政効果の数字。この 1 億は一次計画の 5 年間で 2 園を民営化した場合の財政効果を計算したものである。

- ① 待機児童が 50 人以上いるとあったが、民営化すれば待機児童は減るのか。
- ② 赤字保育園は出ないのか。

⇒ 民間の運営費は国で定められた単価に基づいている。ある程度積み立ては認められているが、もうかる仕組みになっていない。一時的に修繕等で赤字が出る場合も考えられるが、通常の健全な経営を行えば赤字が出るということは考えられない。

- 結局問題は人件費であり、民間と市役所の差だと思う。職員を別のところに異動させても、異動先の部署で赤字が出るのではないか。

また、臨時職員で対応しているのは時代に逆行していると思う。正規職員で対応

していくべき。

- ⇒ 対象園の職員は確かに異動になるが、新しい人を雇わないので人数は減っていく。正規職員と臨時職員はバランスよく配置していく。現在も公立保育園は35%が臨時職員で対応している。
- ⇒ 年度当初4月は定員どおりに職員を配置しているが、年度途中で入所児童数がだんだん増えていくので、対応するために職員を増やさなければならない。ただ年間を通じてその人数入所していればいいが、4月になるとまた入所児童数が少なくなる。そのため、公私問わず年度途中の入所児童数の増加には臨時職員で対応している状況がある。
- ⇒ 民営化による待機児童の解消について、待機は0歳児を中心に発生している状況があるので、今回民営化する保育園では乳児保育を開始する。民営化とは別に新設保育園の予定もあるので、かなりの部分の待機が解消されると考えている。
- ⇒ 0歳児は3人に1人保育士の配置が必要。4人目の0歳児が入所するとまた1人保育士の配置が必要だが、現在市で1人正規職員を雇う場合共済費等も含めると760万円ほどの人件費がかかる。以前に比べあまりにも格差が生じてきた。
- 人件費もさることながら、0歳児をやってくださいと行政指導するとはいうけれど、結局出来るできないと言うのは保育園によって違うと思う。そういうことを試算して言っているのか。費用的なところはどうか。
- ⇒ 乳児保育を実施する場合、国で運営費単価ということで子ども一人当たりの単価を決めている。例えば定員90人くらいの公立保育園で乳児を受け入れると、一人当たり14万9,810円を市から保育園にお支払いしている。3人だと約45万円と保育士1人をつけるということになる。
- ○○さんのおっしゃりたいのは、この条件で津志田保育園をお願いしても業者が飲めない、あるいはできないといった場合にどうするかということだと思う。こちらで条件をつけても受けるほうができるのかということである。
- ⇒ 市で条件を付して公募することにはなるが、現在、市内に私立保育園が32園あり、そのすべてで乳児保育を実施している。したがってそういった素地はあるといえる。津志田保育園の保育需要等を考えても、この条件で応募してもらえるものと考えている。市内に乳児保育を実施していない私立保育園があれば、条件としては難しいのかもしれないが、市内はすべて実施しているので、乳児保育は実施していただけたらと思う。
- 今回、初めて保育所民営化の内容を聞いたが、なかなかよくわからない。この話は若い層の皆さんには説明しているのか。
- ⇒ 保育所の職員及びお子さんをお預けいただいている保護者の方には説明をしている。
- 反応はどうなのか。
- ⇒ 全般的にどこの保育園でもそうであるが、保育士が変わることに対する不安や民間

に移ることで保育の質が下がるのではないかと懸念の意見が出されている。

- 民営化となった場合、組織・体制はどのようになるのか。
- ⇒ 今までいる公立の保育士の配置状況と変わらないようなカタチで配置したいと思っている。いずれ、公立保育園の人事異動で対応することになる。
- 民間に変わった直後は市で指導するのだと思う。ただ、民間のものになれば、「こちらの事に口を出すな」ということになってくると思う。そのときにどうしていくかということだ。ほかでは問題になっている。
- ⇒ 移管した後も引き続き保護者と事業者と市の三者で引継ぎ事項が守られているか確認する期間を一定期間設けることとしている。また、移管した保育所に限らず、現在ある民間保育所・公立保育所については県で毎年監査をしているし、中核市になれば県から監査権限が市におりてくるので、これまで以上にきめ細かな監査ができるようになるのではないかと考えている。
- いずれ先のことは誰もわからない。今のうちは配慮してもらえと思うが、この先どうなるかはわからない。今後いろいろな問題が出てくるかもしれないわけで、そのときに市が「自分らは知らない」という姿勢になると地域が困ることになる。その辺を真剣に検討しないと、ただ行財政の問題、経費の問題だということで民間に移管したというのでは、教育の問題であるので大変なことになると思う。
- ○○さんがおっしゃるとおりである。保育所の入所受付は今もこれからも市である。保育料もその方の収入に応じて決まるので、公立でも私立でも同じ。これからもその根っこの部分は市がおさえるということで、これは未来永劫変わらない。ただ、さっきの話のような民営化に対する不安を今の保護者の方々あるいは地域の方が持たれた場合にどのように説明・対応していくか。そこは大事だと思う。
- 90人定員とのことだが、今の職員はすべて市の職員なのか。
- ⇒ すべて市の職員である。
- ⇒ 臨時職員であっても児童福祉課で決裁を取り、雇用している。
- 職員は何人くらいか。
- ⇒ 15名くらいだと思う。
- 民営化計画は旧盛岡市の内容のようだが、玉山区の保育所はどうか。
- ⇒ 玉山区の保育所はすべて民営の保育所となっているため、今回の計画には含まれない。